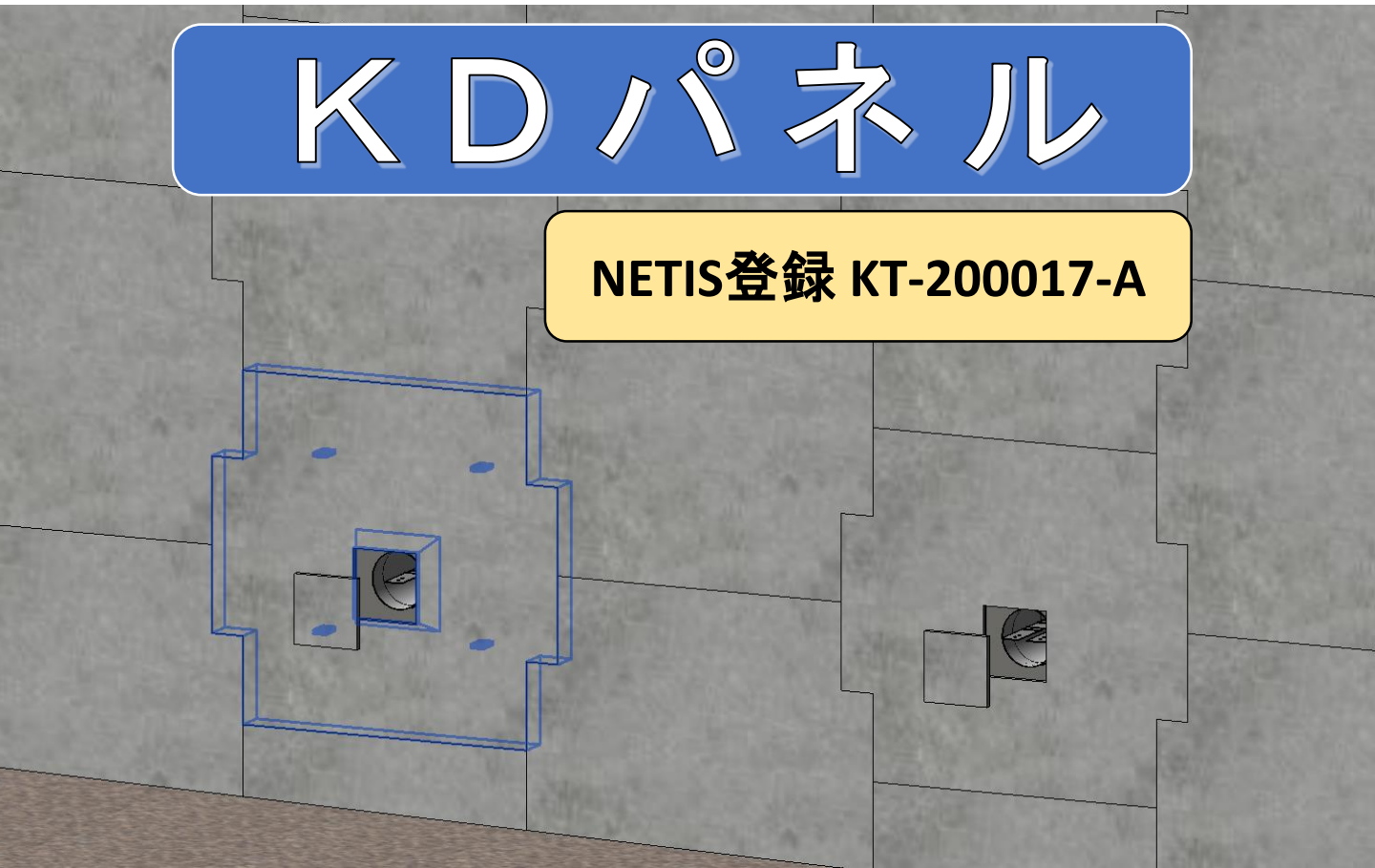


維持管理点検口付き壁面材

KD パネル

NETIS登録 KT-200017-A



KD (Knowledge Durability) パネルは盛土内部の維持管理効率化を目的に開発された壁面材です。

KDパネルを採用することで

- ・壁面材の点検口より開口・補修作業が容易

盛土内部に予め試験用補強材を敷設しておくことで

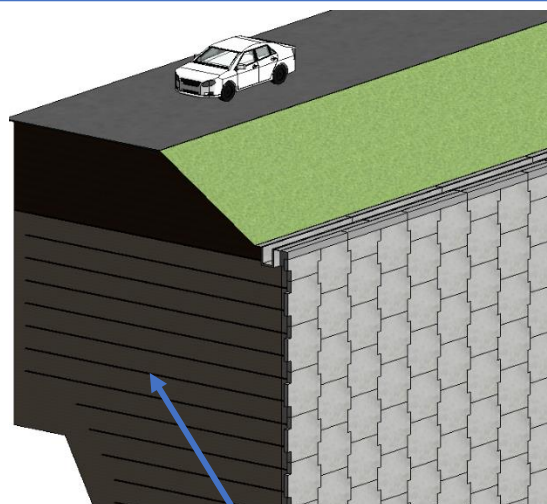
- ・補強材の摩擦効果を確認することができる
- ・補強材の耐久性を確認することができる

テールアルメの盛土内部の耐久性・健全性が確認可能



JFE 商事テールワン 株式会社

点検要領策定による維持管理の必要性

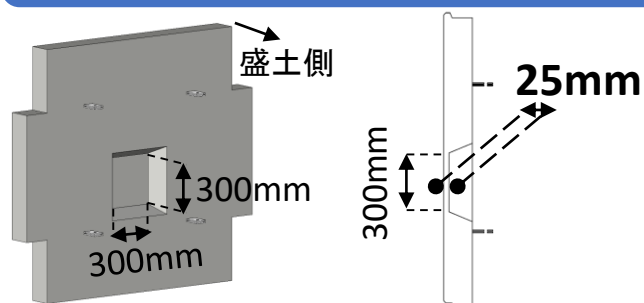


テールアルメ工法は、盛土内部に敷設された補強材と盛土材の摩擦効果により直壁を構築。

H.29に「道路土工構造物点検要領」が策定しました。補強土を含む道路土工構造物の定期的な点検が重要視されています。

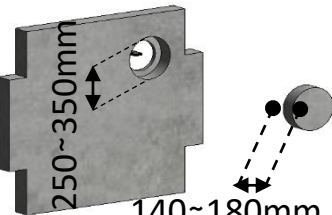
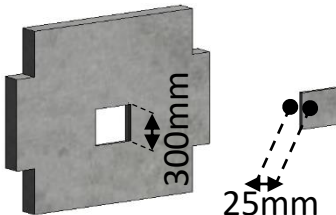
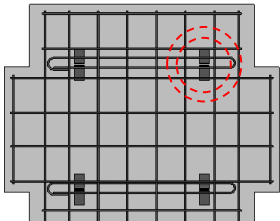
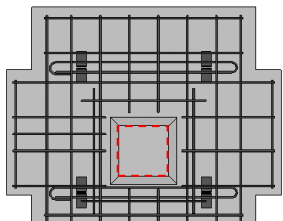
KDパネルは、従来の壁面材と比べ、盛土内部へ「容易にアクセス」、「効率的な維持管理」が可能になります。

KD パネルについて



最小壁厚は25mm。開口・補修作業が容易になりました。
景観性や壁面材の強度は、従来の壁面材と変わりません。

開口・補修作業性の向上

	従来の壁面材	KDパネル
開口作業	  コアドリル等の大型機械が必要	  サンダー等の小型機械で切断可能
補修作業	  配筋、型枠、打設・脱型が必要	  切断した点検口をはめ込み接着

補強材の摩擦効果・耐久性確認

点検用途に合わせて敷設する補強材を選択できます。

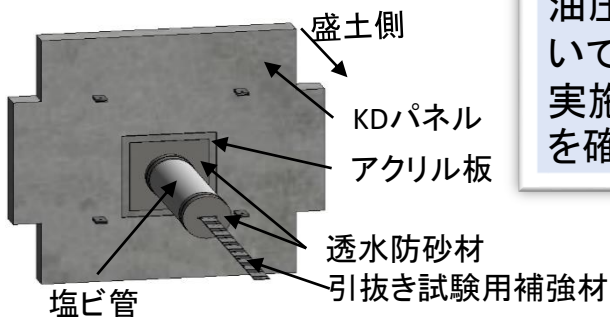
①摩擦効果確認タイプ

- ・施工時に摩擦係数が設計値を満足しているかを確認
- ・経年後や変状時に、摩擦効果が発揮しているかを確認

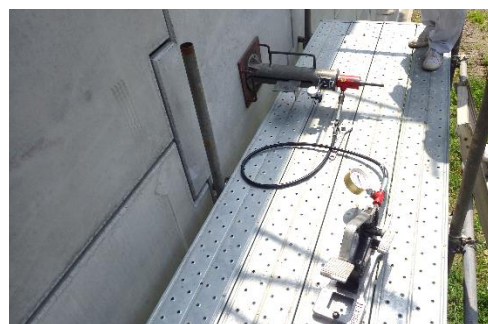
②耐久性確認タイプ

- ・塩害の影響地域に施工された補強材の耐久性を確認
- ・経年後の補強材の健全性・耐久性を確認

①摩擦効果確認タイプ

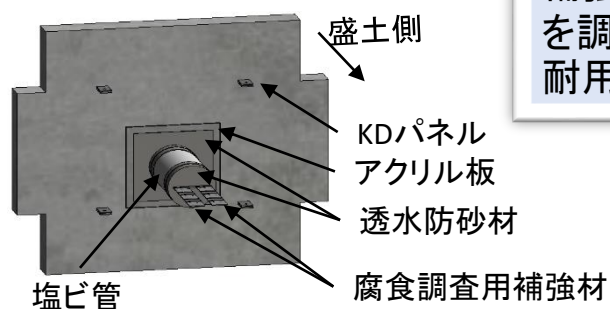


油圧ジャッキを用いて引抜き試験を実施し、摩擦係数を確認

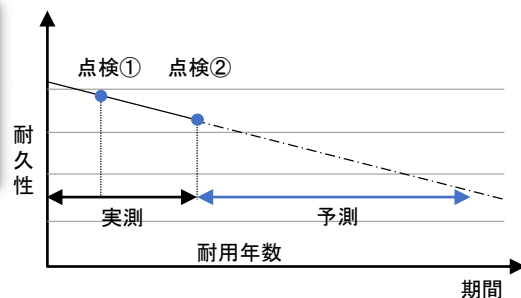


引抜き試験実施状況

②耐久性確認タイプ



補強材の腐食量を調査することで耐用年数を確認



補強材の耐久性イメージ

KDパネルを用いた点検サイクル

①経年後、災害等

②KDパネル開口

③補強材の調査・試験

④KDパネル補修

①～④のサイクルによって、長期にわたり耐久性・健全性を把握できます。

JFE 商事テールワン 株式会社

<http://www.terrearmee.com/>

お問い合わせ

東京本社	〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目7番1号 JFE商事ビル 4階	TEL(03)5203-6270 FAX(03)5203-6277
札幌営業所	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西4丁目1番地 札幌三井JPビルディング13階	TEL(011)261-5692 FAX(011)241-3507
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通1丁目2番23号 北陸ビル	TEL(025)248-2081 FAX(025)241-8344
仙台事業部	〒980-0822 仙台市青葉区立町27番21号 仙台橋本ビルディング	TEL(022)225-8366 FAX(022)225-8360
名古屋事業部	〒450-6423 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号 大名古屋ビルディング 23階	TEL(052)569-5211 FAX(052)569-5213
大阪事業部	〒530-8318 大阪市北区堂島1丁目6番20号 堂島アバンザ 17階	TEL(06)6348-2311 FAX(06)6348-2314
広島事業部	〒730-0016 広島県広島市中区幟町13番-15号 新広島ビルディング 9階	TEL(082)502-3950 FAX(082)502-3952
四国営業所	〒760-0019 香川県高松市サンポート2丁目1番 高松シンボルタワー 23階	TEL(087)823-6501 FAX(087)823-6502
九州事業部	〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町1番35号 博多三井ビル 2号館 6階	TEL(092)283-0272 FAX(092)283-0273
鹿児島営業所	〒892-0847 鹿児島市西千石町1番32号 鹿児島西千石ビル	TEL(099)226-7727 FAX(099)225-6782